

上田高校吹奏楽団 OB 会創立へ向けて 現役生との交流を足がかりに市民会館とのお別れも兼ねて

6組 布施修一郎

60年以上の歴史と、1,000名以上のOB,OGがいるにも関わらず、どう言うわけかOB会のなかった上田高校の吹奏楽団ですが、最近卒業した若手OB、OGからのOB会設立要望を受けて、古参の58期百瀬和紀（元N交響打楽器奏者）さん、62期中村眞一、真山隆夫さん、若手で109期の中山結さん、65期の私、他数名で準備委員会を数回開催してきました。今回は、その一環で6月22日（日）市民会館（10月からは新市民会館、サントミュージゼ）にて行われた、現役吹奏楽団の第三十九回演奏会に、OB40名が演奏で加わることでOB会発足への弾みをつけることにあいなりました。

当日の様子は信濃毎日新聞にも掲載されましたが、当日の舞台での様子、私も加わった写真などを添付致します。OBも加わった120名の演奏、ボレロは圧巻で多くの聴衆者の感銘を受けたようです。

高
上田高校吹奏楽団
第39回定期演奏会
Ueda High School Wind Orchestra
39th Regular Concert
2014年 6月22日 (日)
上田市民会館 開場 13:00
開演 13:30
後援/上田市教育委員会、信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、
長野県吹奏楽連盟、長野県高等学校吹奏楽連盟、
一般社団法人 上田高等学校同窓会・上田高等学校PTA



また、現在の市民会館は、昭和38年に完成し、本年の12月を最後に閉館となる予定であり、50年の歴史に幕を降ろすことになり、いささか感慨深いものがあります。



今後は、この市民会館で10月11日にOB会設立記念演奏会を開催し、毎年の事業として継続して行く予定です。



2014.6.23 付け 信濃毎日新聞記事

第三種郵便物認可

信 濃 毎

上田高校吹奏楽団定期演奏会



合同で「ボレロ」を演奏する上田高校吹奏楽団の現役生とOB

上田高吹奏楽団OB会発足へ
地域文化貢献狙い準備

上田高校（上田市大手）吹奏楽団のOBたちが、OB会「松奏会」（仮称）の発足準備を進めている。OB間の親睦を深めながら地域の音楽文化の発展に貢献しようと計画した。22日は、上田市民会館で開かれた現役生の定期演奏会にOB約40人が参加し、現役生と「ボレロ」で協演した。

現役生と協演

同校吹奏楽団の正確な創立年は不明だが、最初の卒業生は1953（昭和28）年3月卒業とされる。若手のOB数人が「歴史ある楽団なのに、卒業すると現役とOBの交流がないのは寂しい」と声を掛け、2012年9月に「OB会設立準備委員会」を発足。今回の協演は、OB会設立を広く知ってもらう目的だ。

ボレロの指揮は、OBで元NHK交響楽団首席ティンパニー奏者の百瀬和紀さん（72）＝東京＝が務めた。百瀬さんは「日本では、中学校や高校で吹奏楽を経験した人は多いのに、卒業後も続ける人が少ないのが現状」と嘆く。将来はOB会をOBに限定せず、多くの市民が生涯にわたって演奏を楽しめる場になりたいと考えている。

22日は10、70代のOBが現役生に交じり、計110人余りで舞台へ。息の合った演奏に客席の約1200人から大きな拍手が送られた。

OB会は10月11日、市民会館で設立記念演奏会を計画している。同日、設立総会を開き、正式に発足する予定だ。設立を呼び掛けた一人で学習院大（東京）文学部3年の中山結さん（22）は「今後も卒業生に呼び掛けて会員を増やしながら、息の長い会にしていきたい」と話していた。